

天皇盃全国都道府県対抗男子駅伝競走大会選手選考基準

選手選考について

〔中学生・高校生の選考方法〕

1. 原則として、第4回長距離記録会（兼都道府県駅伝選手選考会）の結果を元に選考する。
2. 今年度実施された競技会にて、著しい結果・記録を残したものの。

中学生	高校生
<ul style="list-style-type: none">・全日本中学陸上競技選手権入賞・九州中学陸上競技選手権入賞・県中学駅伝（地区予選も含む）の結果・九州中学駅伝区間順位上位・全国中学駅伝区間順位上位	<ul style="list-style-type: none">・北九州大会、九州新人大会入賞・全国高校総体入賞・九州高校駅伝区間順位上位・全国高校駅伝区間順位上位
選考基準記録 A：8分50秒～59秒 B：9分00秒～10秒	選考基準記録 A：14分00秒～15秒 B：14分16秒～30秒

以上より、中学・高校生ともに5～8名程度の候補選手を選出する。最終エントリー中学生3名、高校生4名に関しては、12月末日に選考する。（選考方法は、後日連絡）

いずれにせよ、直前の調子（体調や走力）を参考にして、スタッフで協議して最終的に監督が決定する。

〔一般の選考方法〕

所属チームや本人の意思を確認し、当該年度の実績5000m、10000m、20km、ハーフマラソン、マラソンの競技成績から判断する。諸事情により選手選考が困難な時は、これまでの実績を参考にして、スタッフで協議して監督が決定する。

5000m	13分57秒（昨年度学生ランキング80位程度）
10000m	29分00秒（昨年度学生ランキング80位程度）
20km	1時間00分40秒（昨年度箱根予選会50位程度）
ハーフマラソン	1時間03分30秒（昨年度学生ランキング80位程度）
マラソン	2時間11分00秒